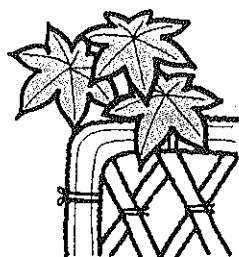


シリーズ「訪問介護」

パート5

寮母 高橋 ノリエ



訪問介護を始めて一年になります。

私が川内町の独居老人の名簿を手に、初めて在宅を訪問した時は、三恵ホームの紹介や来年开始のデイ・サービスの話が上手に出来るか、お年寄りやお家の方々に気持ちよく聞いて頂けるか心配でしたが、最近では私達の訪問を心待ちにしてくれているように感じともうれしく思います。

今年は雨の日が多く、特に独居生活しておられるお年寄りには、日常生活は大変だったと思います。

訪問しているWさんも、歩行困難の為、雨で屋外へ出れず困っておられました。天気の良い日は、庭先の草花の手入れなどをされています。私が訪問すると「よう来てくれたなあ。待ったよ。待ったよ。」と笑顔で迎えて下さり「体調はいかがですか?」とお尋ねすると、「今は血圧も落ちついているのよ。手術した足のあんばいが悪く、十全附属病院でリハビリを受けていますのよ。」と話して下さいます。訪問して話し相手になり、少しでも孤独感を解消する事ができればと努力をしています。

デイ・サービスも来春に始まりますが、デイ・サービスの目的は、『在宅での自立生活を助ける』『孤独感を解消する』『心身機能の維持と改善』『家族の介護負担の軽減』などを目指して、地域のお年寄りや障害者一人ひとりが自立した生活を、地域で維持していくことが可能となるよう努力して参りますので宜しくお願致します。

工夫次第

訓練頑張りましょう

理学療法士 水田 秋敏

中庭の藤棚がみことな紫の花を垂れるころ、わたしは三恵職員仲間に入りました。

リハビリを担当するわたしは最初、病院との勝手の違いに戸惑いましたが、諸先輩、園生の皆さんのお陰(逆ですね...)で、だいぶ慣れてきたようです。

身障施設では特に、訓練にも「工夫」が必要とされるとつくづく思い知らされます。病院では機能そのものにアプローチするのが主なら、ここではそのちょっとした工夫(食事の自助具や、やる気の引き出し)がリハビリに結びつくことが多いように思われます。

「何やっても同じ」なんて思っている、一部の園生や家族の方ももう一度いっしょにじっくり考えてみませんか?

何か新しい発見があるかもしれませぬから...

PS..自己紹介

昭和39年12月3日生(28)

血液型 A型

趣味 映画鑑賞、読書

出身地 松山市平井町

苦手 早起き、掃除

